NIPPON STEEL

SANYO SPECIAL STEEL

2025年度中間決算の概要

(2025年4月1日～2025年9月30日)

2025年11月6日

「さんとくん」
(当社キャラクター)

山陽特殊製鋼株式会社

https://www.sanyo-steel.co.jp/

目次

1．2025FY中間決算の概況

2025FY上期損益の概要

事業環境、欧州事業環境

業績推移

経常利益の変化要因(2024FY上期→2025FY上期)

OVAKOの状況、SSMIの状況

2．トピックス

3．2050年カーボンニュートラル(CN)実現に向けた取り組み

4．参考資料

軸受在庫循環図、業績推移(年度)

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

１．2025FY中間決算の概況

2025FY上期損益の概要 (対2024FY上期)

連結経常利益28億円(前年同期比+1億円)
欧州の需要低迷によるOVAKO減益があったものの、当社単独の売上数量増等により増益

当社単独は、売上数量の増加等により前年同期比増益。一方、OVAKOは欧州景気の不透明感を背景とした需要低迷に加え米国関税影響により前年同期比減益。グループ全体としては連結子会社損益の改善もあり前年同期比減収増益となった。

(単位：億円、%)

	2025FY上期 (A)		2024FY上期 (B)		増減 (A)−(B)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	増減率
売上高	**1,596**	***100.0***	1,684	*100.0*	**-89**	***-5.3***
経常利益	**28**	**ROS *1.7***	26	ROS *1.6*	**+1**	***+4.6***
内、当社単独	58	*7.2*	53	*6.6*	+5	*+9.6*
内、OVAKO	5	*0.7*	21	*2.9*	-16	*-76.9*
内、SSMI	4	*3.8*	4	*3.2*	+0	*+10.5*
内、のれん償却費	▲17	–	▲17	–	-0	–
税後利益 (注1)	**15**	***1.0***	15	*0.9*	**-0**	***-0.2***
のれん償却費を除く税後利益	**33**	***2.0***	32	*1.9*	**+0**	***+0.6***
売上数量 (千t)	**679**	***113.1 /月***	683	*113.8 /月*	**-4**	***-0.7 /月***
内、当社単独	382	*63.6 /月*	367	*61.2 /月*	+14	*+2.4 /月*
内、OVAKO	236	*39.4 /月*	259	*43.2 /月*	-23	*-3.8 /月*
内、SSMI	60	*10.1 /月*	56	*9.4 /月*	+4	*+0.7 /月*

(注1)親会社株主に帰属する中間純利益　　(注2)SSMI：1月～6月の数値

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業環境

需要動向

日本：需要は回復基調にあるものの、その動きは緩やか。米国通商政策が需要業界に与える影響は不透明。

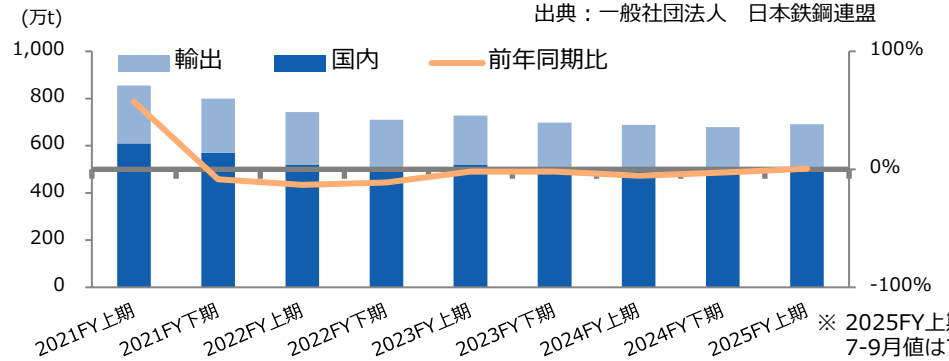
欧州：中国含め経済全体の回復の遅れなどにより、需要が停滞。今後想定されるドイツを中心とした財政施策の積極化などによる需要回復を期待。ただし、米国通商政策による影響は不透明。

原燃料価格

原料価格は概ね横ばいも、今後の動向に注視。電力の上昇ありエネルギー価格は依然として高位で推移。諸資材等のインフレも継続。

1．特殊鋼受注数量

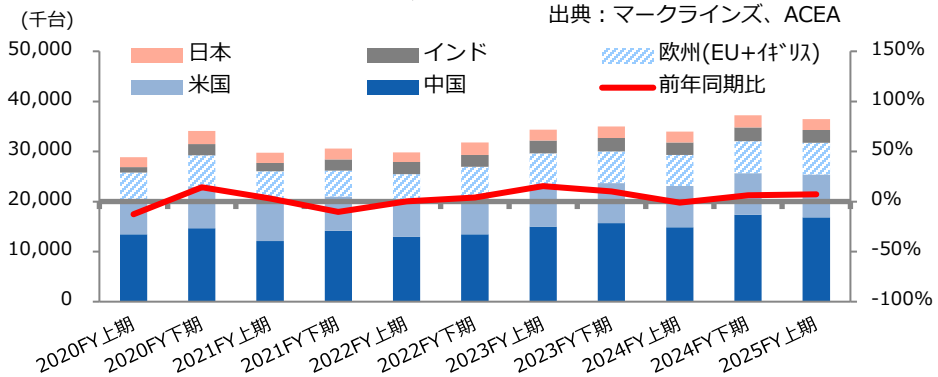
出典：一般社団法人　日本鉄鋼連盟



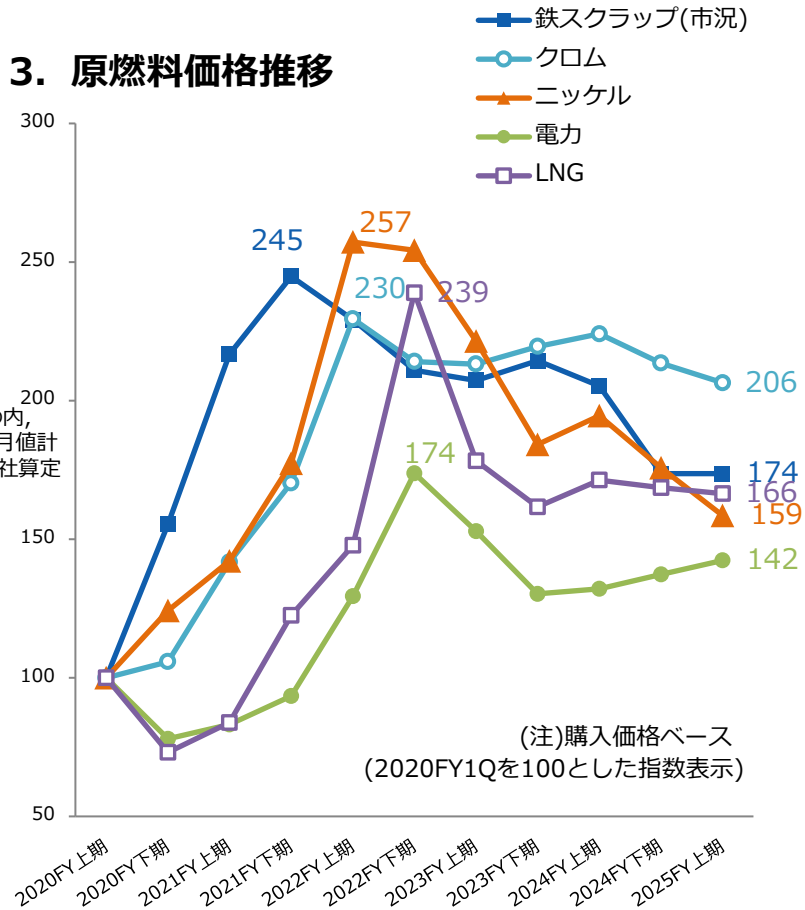
※ 2025FY上期の内，7-9月値は7,8月値計×1.5により当社算定

2．主要国自動車販売台数

出典：マークラインズ、ACEA



3．原燃料価格推移



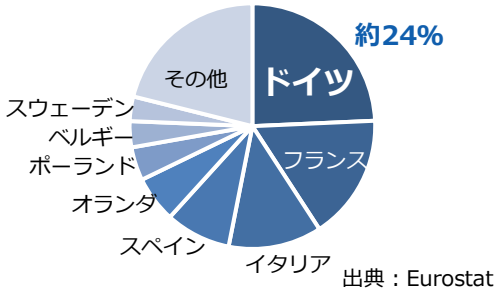
© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

欧州事業環境

EU経済に占めるドイツのポジション

ドイツはEU最大の経済国で、同国のGDPはEU全体の20%以上を占める。

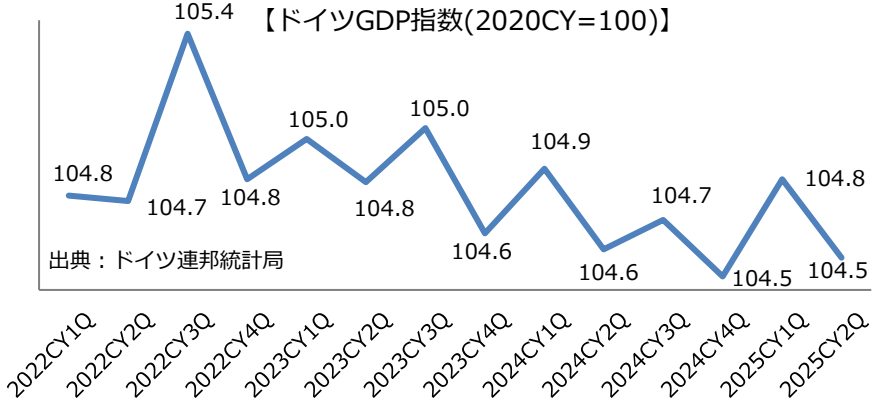
【EUの国別GDP割合(2023FY)】



ドイツGDP推移

2024年のGDPは前年比0.2%減となり、2年連続の縮小となった。2025年4-6月のGDPは前四半期比0.3%減。輸出減と製造業および建設業の不振が響いたとみられる。

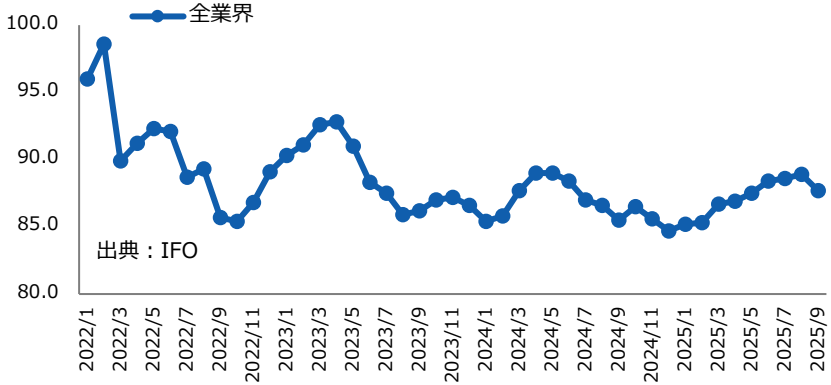
【ドイツGDP指数(2020CY=100)】



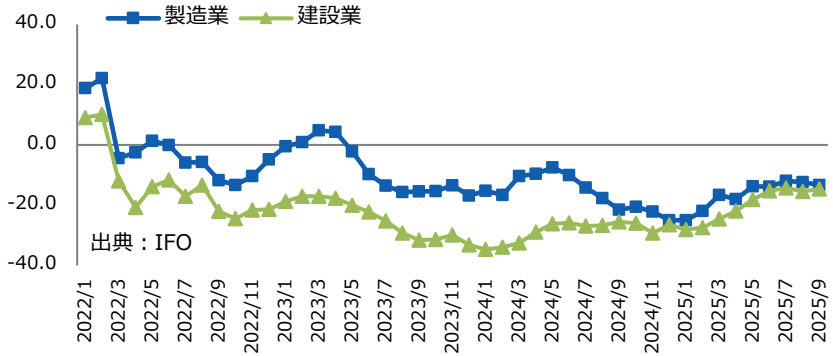
ドイツ企業景況感

新政権による財政刺激策への期待感などから、ドイツ企業景況感指数は改善傾向にあるものの、回復の動きは鈍い。

【ドイツ企業景況感指数(2015CY=100)】(全産業)

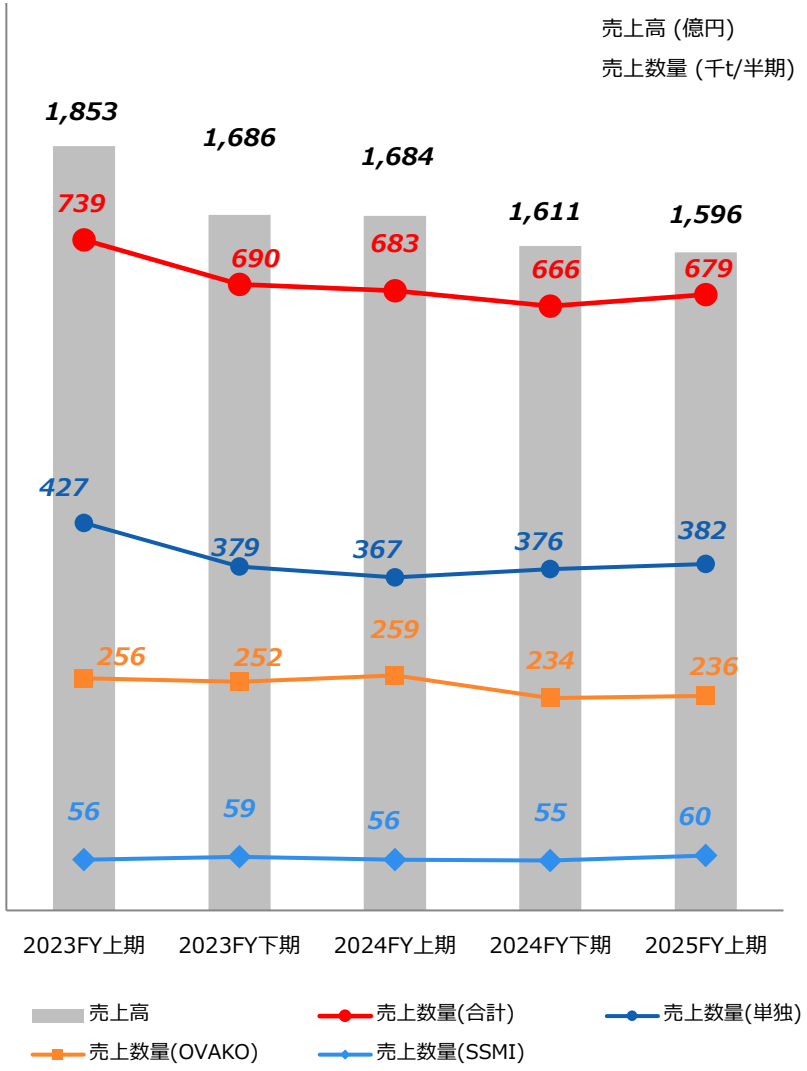


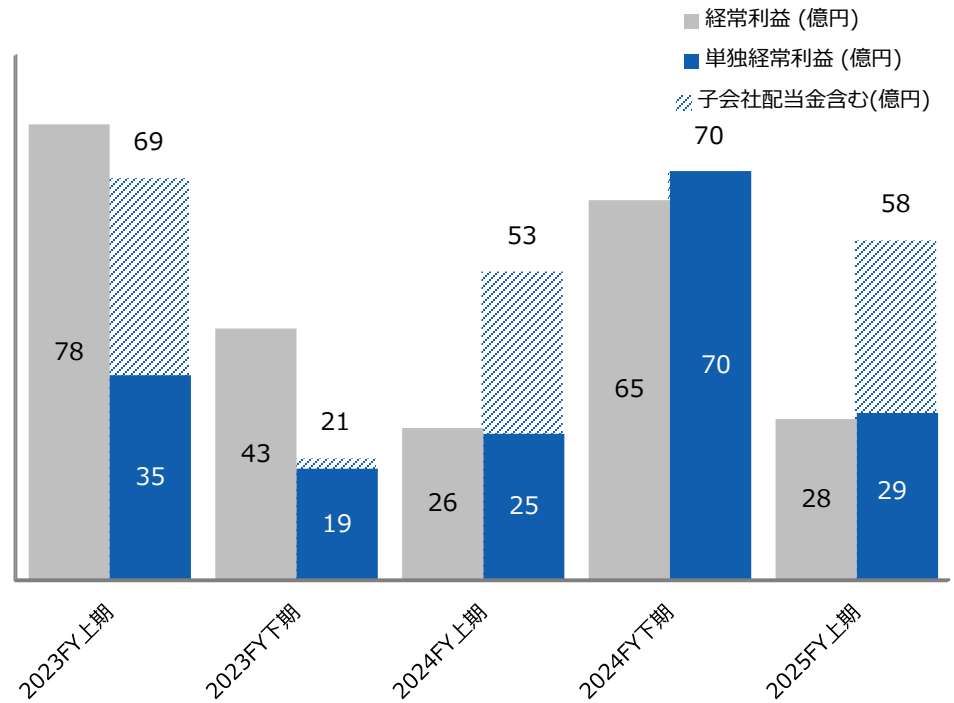
【ドイツ企業景況感(バランス)】(製造業・建設業)

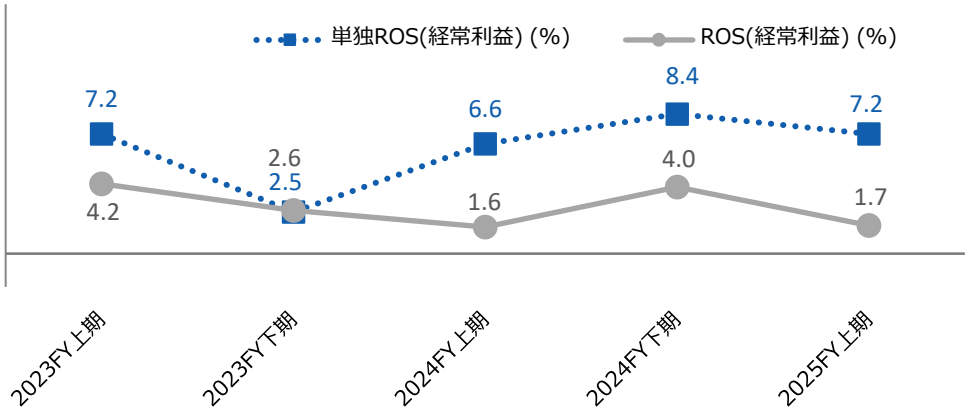


© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績推移

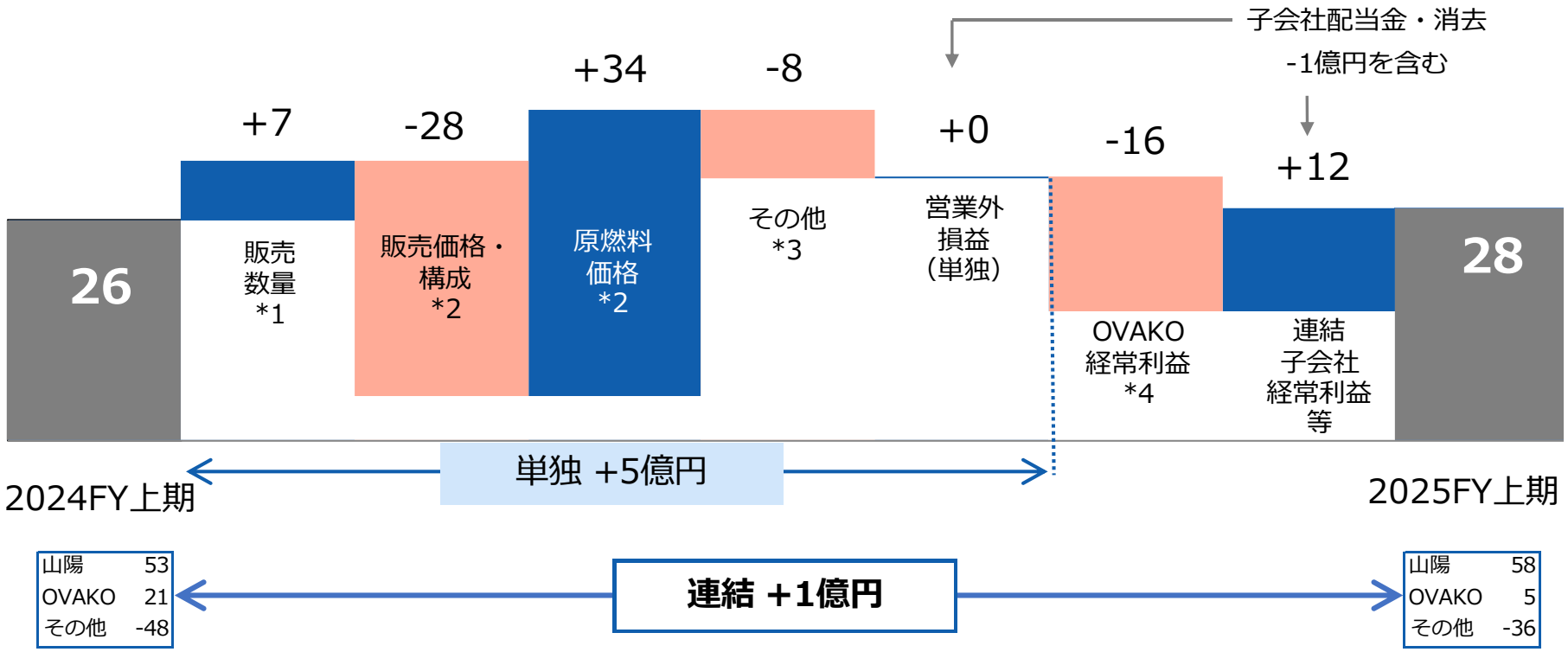






© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

経常利益の変化要因 (2024FY上期→2025FY上期)



***1 販売数量**
- 4%増 (+14千t : 367千t→382千t)

***2 サーチャージタイムラグ**
- 鉄スクラップ-0 (○1→○1)
- エネルギー+0 (×1→×1)

***3 その他内訳**
- 変動費コストダウン+4、修繕費+2、諸資材・外注・物流費等-6、固定費-8

***4 OVAKO経常利益**
- 販売数量 -26
  9%減 (-23千t : 259千t→236千t)
- 一過性要因 +5 (-4→+1)
  うち、為替影響 +5 (-4→ +1)
- 販売・原燃料価格、構成 -11
- その他(固定費等) +16

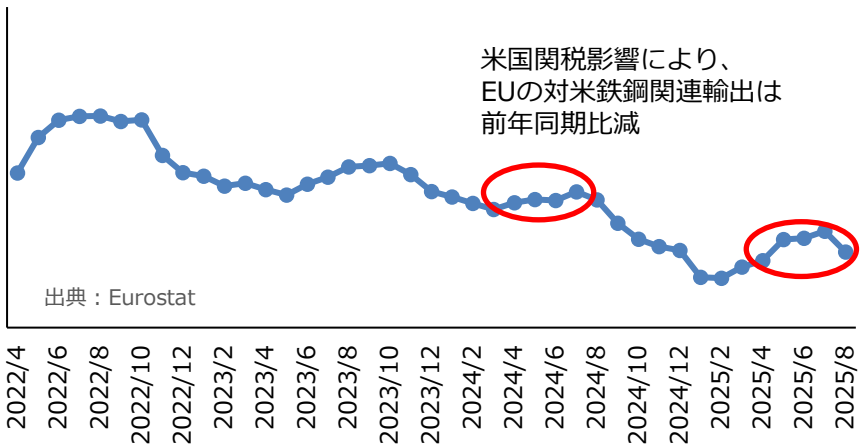
© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

OVAKOの状況

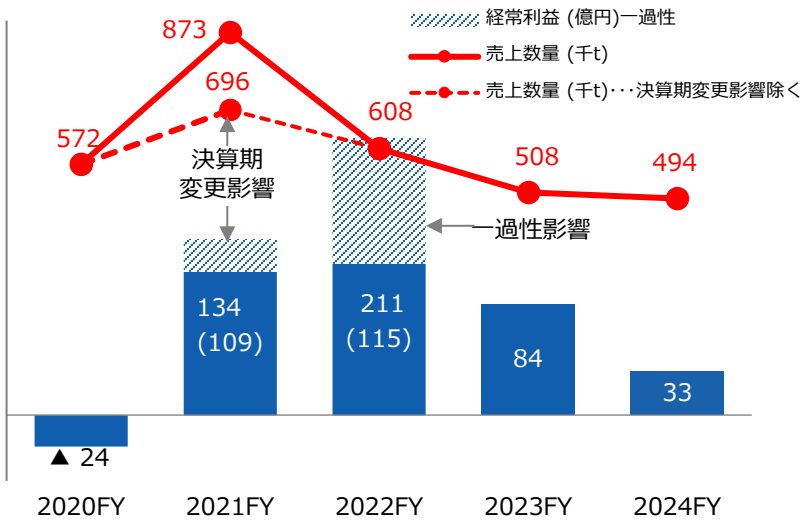
2025FY上期業績

・中級品の拡販による数量確保に取り組んだものの、欧州景気の不透明感を背景とした需要低迷、米国関税影響などが重なり、販売数量は前年同期比減の236千t(前年同期比-23千t)。人員削減をはじめとしたコスト削減に取り組んだものの、**経常利益は5億円(前年同期比-16億円)**となった。

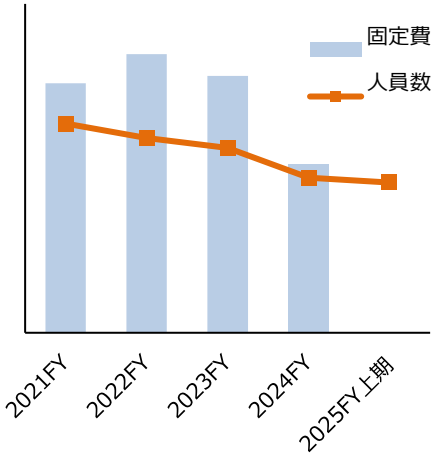
EU(27ヵ国) 対米鉄鋼関連輸出推移 (6ヵ月移動平均)



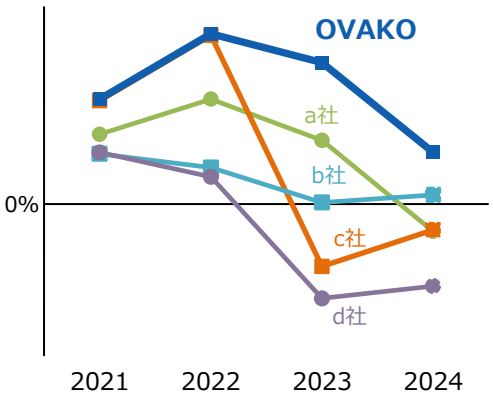
売上数量、経常利益推移



OVAKO 固定費、人員数推移



欧州同業他社比較(EBIT%)



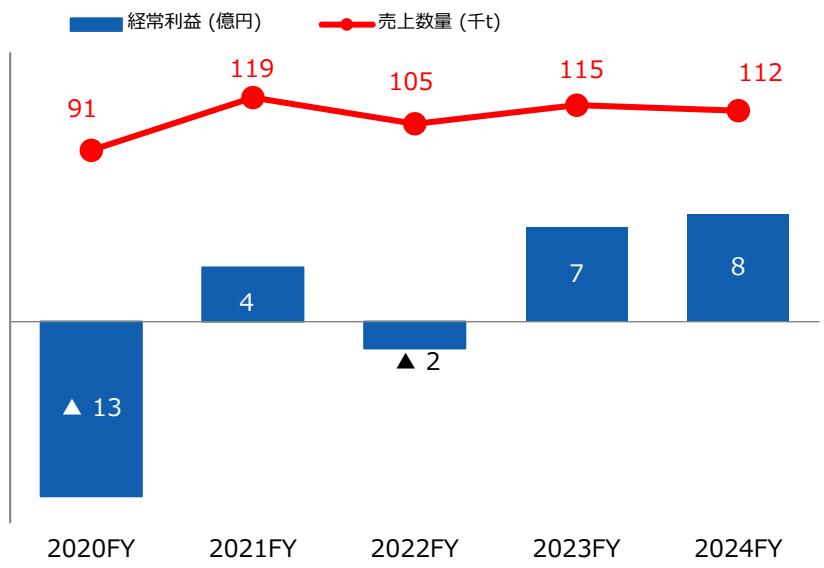
© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

SSMIの状況

2025FY上期(1-6月期)業績

・販売数量は前年同期比増の60千t(前年同期比＋4千t)。米国関税動向が不透明であった影響等による販売構成の悪化があったものの、競争力のある鉄源・エネルギーの活用および生産計画の最適化などによるコスト改善施策を実行し、**経常利益4億円(前年同期比+0億円)**となった。

売上数量、経常利益推移



収益力強化に向けた取り組み

1．営業基盤・営業体制の強化
　高清浄度技術を活かした営業戦略の策定
　拡販、販売構成の高度化、販売価格の改善

2．変動費の削減
　エネルギー原単位改善や競争力のある鉄源・電力の活用による操業コスト・調達コストの削減
　(再エネ由来の競争力のある電力の使用を開始
　　太陽光発電電力：2024年9月より使用開始
　　風力発電電力　：2025年5月より使用開始)

3．固定費の抑制
　借入金の返済等による、金利コストの削減

・**生産、販売、技術、人材、財務面等を一層強化**することにより、**中長期的な経済成長が見込まれるインドにおけるプレゼンスをより確固**たるものとし、**当社グループのグローバル展開の強化と更なる成長**を図る。

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. トピックス

トピックス

1．各種受賞

1-1．粉体粉末冶金協会(2025年５月28日)

・一般社団法人粉体粉末冶金協会主催の春季大会にて、ダイカスト金型向け金属AM用粉末「S-MEC®シリーズ」※1が、粉体粉末冶金分野における独創的な新技術・新製品の開発および製品改良で実用に供されているものとして、2024年度「新技術・新製品賞（優秀賞）」を受賞しました。

※1 3Dプリンターによるダイカスト金型造形に使用することで、金型の効果的な冷却を可能にし、サイクルタイム短縮による生産性向上や金型の長寿命化を実現。

▲表彰式に参加した、（左から）相川芳和粉末技術部長、澤田俊之新商品開発室長、萩谷透粉末技術部員と尾崎由紀子会長（右端）

1-2．日本金属学会(2025年9月17日)

・公益社団法人日本金属学会の秋季講演大会にて、高硬度・高靭性過共析鋼「TOUGHFIT®（タフィット）」※2の開発・量産化が、金属およびその関連の工業に関する独創性に富む新技術・新製品の技術開発であったとして、2024年度「技術開発賞」を受賞しました。

※2 独自の合金成分設計と熱処理技術により、従来トレードオフ関係にあった高硬度と高靭性を両立し、高延性も兼ね備えた機械的特性を実現。

▲賞状と盾を手にする杉本隼之研究員

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

トピックス

2. スウェーデン国王に謁見（2025年5月14日）

・大阪・関西万博のノルディックサークル(北欧館)にて、当社の八並取締役常務執行役員が、スウェーデン王国のカール16世グスタフ国王に謁見ししました。

・当社がスウェーデンに本社を置く特殊鋼メーカーOVAKO社に出資していることによって築かれた関係性に基づき、実現に至りました。

▲カール16世グスタフ国王（右）と対話する
八並取締役常務執行役員（左）

3. サプライヤー表彰（2025年8月21日）

・当社では、取引先様とのパートナーシップ強化の一環として、サプライヤー表彰制度を設けています。

・原材料･諸資材･保全･外注の各部門について、当社との年度ごとの取引における品質･コスト競争力･納期管理･取引先の経営状況･環境対応･サービスなどの要素を総合的に評価し、特に優れているサプライヤー様を選考し表彰しました。

パートナーシップ構築宣言

▲2025年度は特に優れたサプライヤー様５社を表彰

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 2050年カーボンニュートラル(CN)実現に向けた取り組み

当社グループのロードマップ(Scope1+2、Scope3)

国内鉄鋼メーカーとして初※ SBT認定取得

※中小企業向けSBT認定取得企業を除く

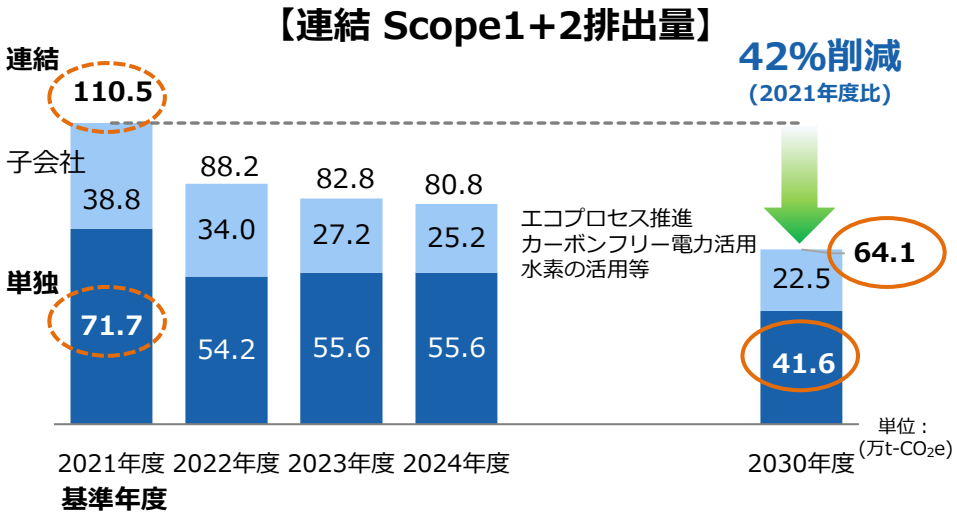
・2030年度までのGHG排出量削減目標について、産業革命前からの気温上昇を1.5℃に抑えるための科学的根拠に基づいたものであると評価され、国際的なイニシアチブである「Science Based Targets initiative(SBTi)」より、**2025年1月21日に国内鉄鋼メーカーとして初めてSBT認定**。

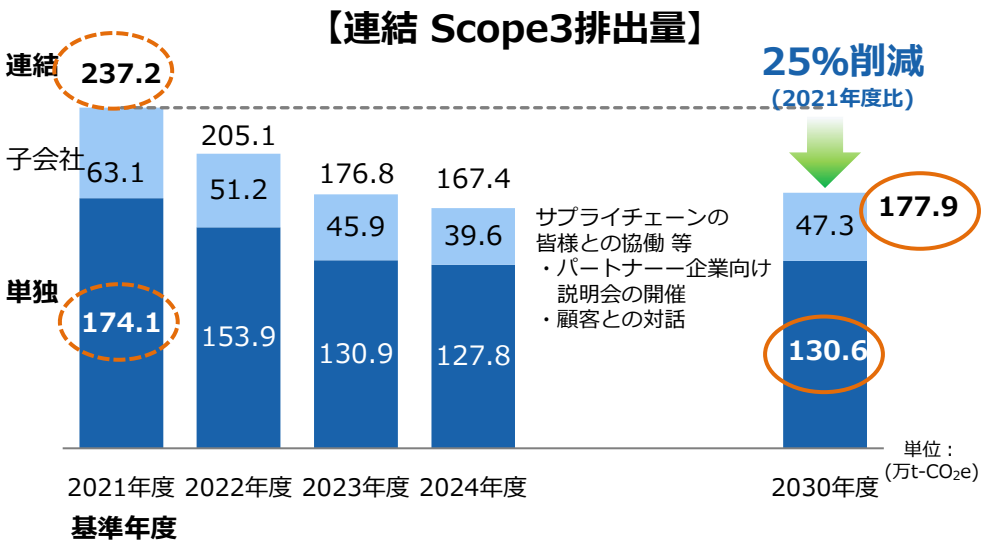
SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

Scope3削減目標策定 鉄鋼業界において世界に先駆けた取組み

・2024年9月、連結でのScope3排出量削減目標を策定。

・SBTのScope3認定基準に整合する「**2030年度までに2021年度比でGHG排出量を25%削減**」を目指す。

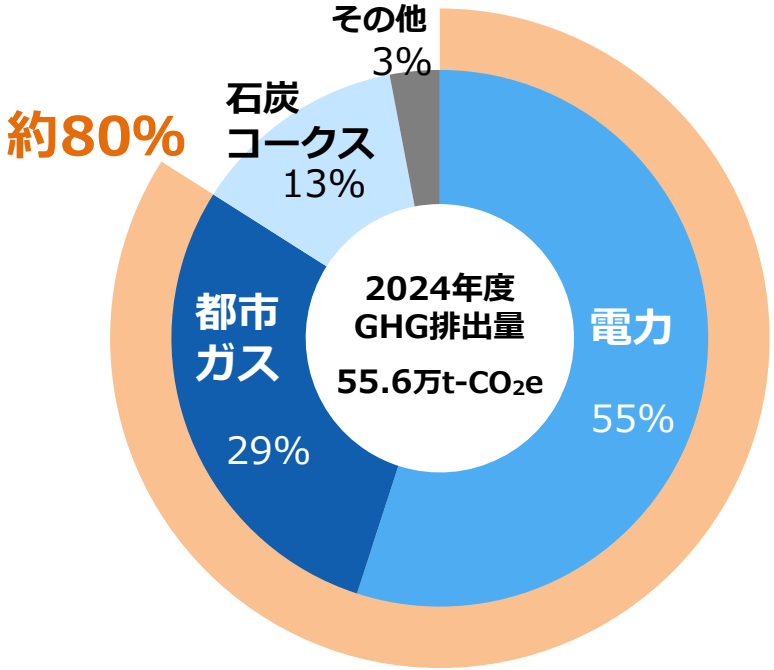




© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

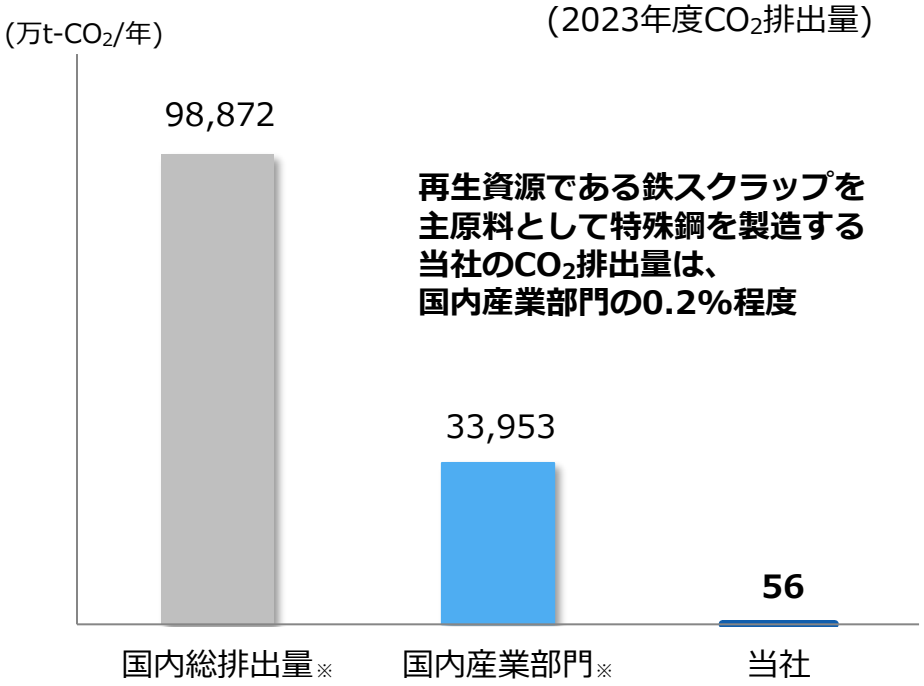
当社のGHG排出量の状況

当社のGHG排出量内訳 (当社単独Scope1+2)



当社のGHG排出量の80%以上が電力と都市ガス

CO_2排出量における当社の位置づけ



再生資源である鉄スクラップを主原料として特殊鋼を製造する当社のCO_2排出量は、国内産業部門の0.2%程度

※国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス
日本の温室効果ガス排出量データ (2023年度実績報告値)

GXリーグへの参画

当社は、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、企業の成長、生活者の幸福そして地球環境への貢献が同時に実現される経済社会システム全体の変革を目指す「GXリーグ基本構想」に賛同、2023年5月にGXリーグに参画した。

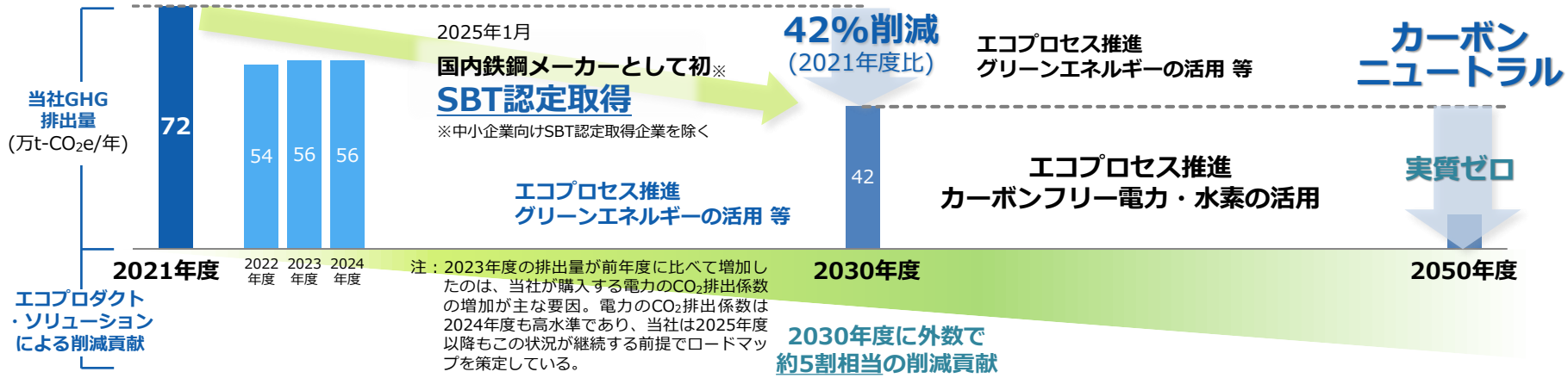
自主的な排出量取引、市場創造のためのルール形成、ビジネス機会の創発、GXスタジオでの交流といったGXリーグにおける活動に積極的に参加していく。

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

2050年に向けた当社のロードマップ

製造工程における省エネとグリーンエネルギーの活用、およびエコプロダクト・エコソリューションによる貢献で、自社の製造工程だけでなく、社会のあらゆる段階でのGHG排出量削減を目指す

【当社単独Scope1＋2排出量】



注：2023年度の排出量が前年度に比べて増加したのは、当社が購入する電力のCO_2排出係数の増加が主な要因。電力のCO_2排出係数は2024年度も高水準であり、当社は2025年度以降もこの状況が継続する前提でロードマップを策定している。

当社GHG排出量削減

リジェネバーナーを採用した省エネ加熱炉

エコプロセス

製造現場を中心とした全社の省エネ対策やエネルギー効率を高める製造技術開発を推進
※2023年度からインターナルカーボンプライシングを導入

グリーンエネルギー活用

カーボンフリー電力や脱化石燃料、自然エネルギーの活用
※2022年度から再エネ由来電力の一部活用開始
2024年度から水力・太陽光発電活用開始

エコプロダクト・エコソリューションによる削減貢献

長寿命風力発電用軸受鋼の開発

エコプロダクト

製品を使用する段階でGHG排出量削減に貢献する商品や、需要家のエコプロセスに貢献する商品の開発・供給を推進

海外グループ会社への技術展開

エコソリューション

エネルギー原単位削減に寄与する省エネや生産性向上技術をOVAKO、SSMI等の海外グループ会社に展開

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

エコプロダクトによるGHG排出量削減への貢献

お客様での部品製造や最終製品としての使用段階におけるGHG排出量削減に貢献するエコプロダクトの開発に注力

・当社材料技術を活用したエコプロダクトによる社会のあらゆる段階でのGHG排出量削減貢献を目指す。

・今後も長寿命化等、材料特性をさらに強化したエコプロダクトの実装と一層の普及を図ることで、カーボンニュートラル社会の早期実現に貢献していく。

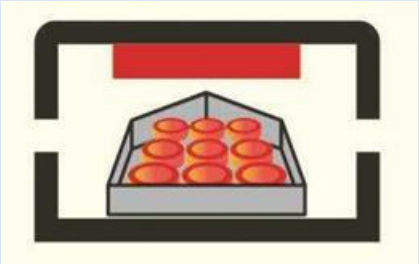
長寿命軸受鋼

耐久性・信頼性向上による
部品の小型・軽量化

長寿命化による
故障率低減・メンテフリー化
（CO_2削減効果は推計で1.3万トン/年※）

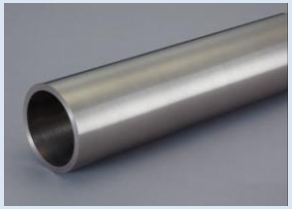
工程省略鋼

（高強度肌焼鋼：ECOMAX®シリーズ）
熱処理の省略・簡略化



（高硬度高靭性鋼：TOUGHFIT®）
新成分＋新熱処理技術による
部品硬化熱処理負荷の軽減

耐熱ステンレス鋼管



高強度化による
熱回収効率向上

高耐食性化による
ごみ発電高効率化

※第18回 日本LCA学会 研究発表会(2023年3月10日)にて発表

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

欧州子会社OVAKOの取り組み

OVAKOロードマップ

2020年 4月
世界初 水素を燃料に用いた鋼片加熱に成功

2022年 1月
グリーン鋼材の販売を開始
全ての鋼材に気候サーチャージを適用

2023年 9月
カーボンフリー水素プラント稼働開始

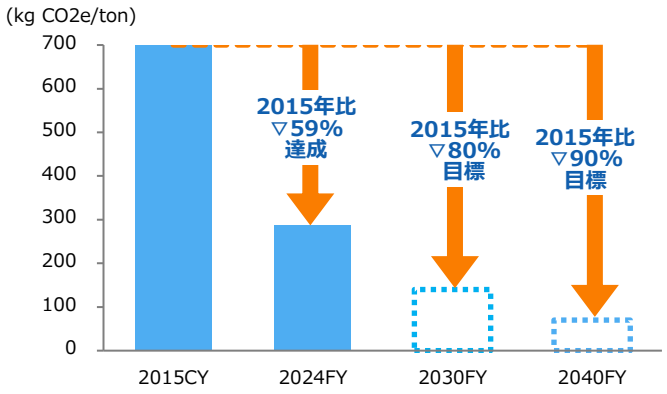
欧州最大級の設備

Hofors工場加熱工程で排出する GHGを約50%(約2万t/年)削減可能

顧客との協同取り組み事例

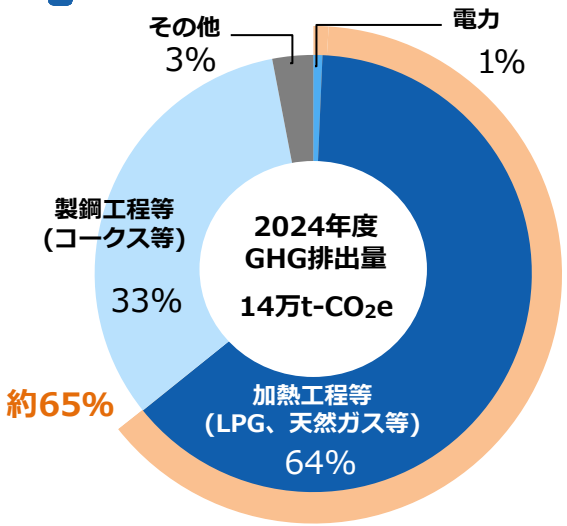
- SKFと協同し、GHG排出量90%減の軸受生産を達成
- Volvoの温室効果ガス ネットゼロ 自動車製造プロジェクトへ参画

OVAKOのGHG排出量(Scope1+2)



OVAKO SUSTAINABILITY REPORT 2024をもとに作成

OVAKOのGHG排出量内訳



© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

OVAKOのカーボンフリー水素プラントについて

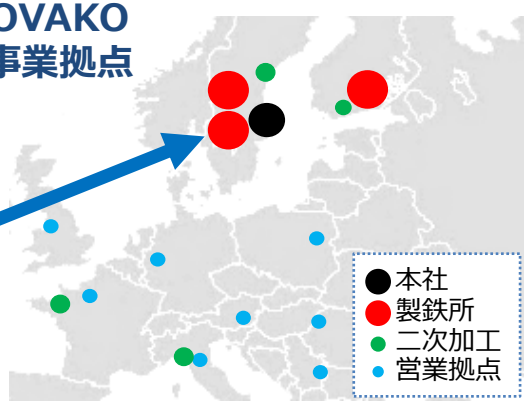
- スウェーデン政府の財政支援と現地有力企業(Volvo Group等)の参加を受けて、スウェーデンHofors工場内に建設。
- 投資総額180百万SEK(スウェーデンクローネ)　※うち約4割をスウェーデン政府が財政支援
- 脱化石電力を使用した水の電気分解により、毎時約4千㎥(約3千t/年)のカーボンフリー水素を生成可能。
- 加熱炉等の燃料をカーボンフリー水素に転換することで、Hofors工場の加熱工程で発生するGHGの約50%(約2万t/年)を削減可能。
- このたび完成した水素プラントの稼働で得られる知見等を踏まえ、2030年をひとつの目途として各製鉄所での水素プラント導入を検討するなど、気候変動問題へのさらなる取り組みを推進していく。

OVAKO水素プラントの電解装置

豊かな自然に恵まれたスウェーデンは、脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高く、産業用電力料金は日本の1/3～2/3程度

OVAKO
Hofors工場

OVAKO 事業拠点



カーボンフリー水素プラント開所式

2023年9月5日にスウェーデンのクリステション首相をはじめとする多数の来賓列席のもと、開所式を挙行。

(中央)スウェーデン首相、
(左)当社代表取締役社長（当時）、
(右)OVAKO CEO

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

インド子会社SSMIの取り組み

再エネ由来電力の活用や燃料転換、省エネを推進

再エネ由来電力の活用や、従来の燃料油からクリーンで効率的な天然ガスへの燃料転換、エネルギー効率の高い生産プロセスや設備の導入等を推進。

SSMIロードマップ

- **2018年** SBT認定取得
- **2024年 9月** 太陽光発電電力 使用開始
  - 自社の製造工程で排出するGHGを約25%削減
- **2025年 5月** 風力発電電力 使用開始
- **2030年** GHG排出原単位40%削減(2016年度比)
- **2050年** カーボンニュートラル実現

2023年8月Tata Powerグループと太陽光発電による再エネ由来電力の購入契約を締結

太陽光発電

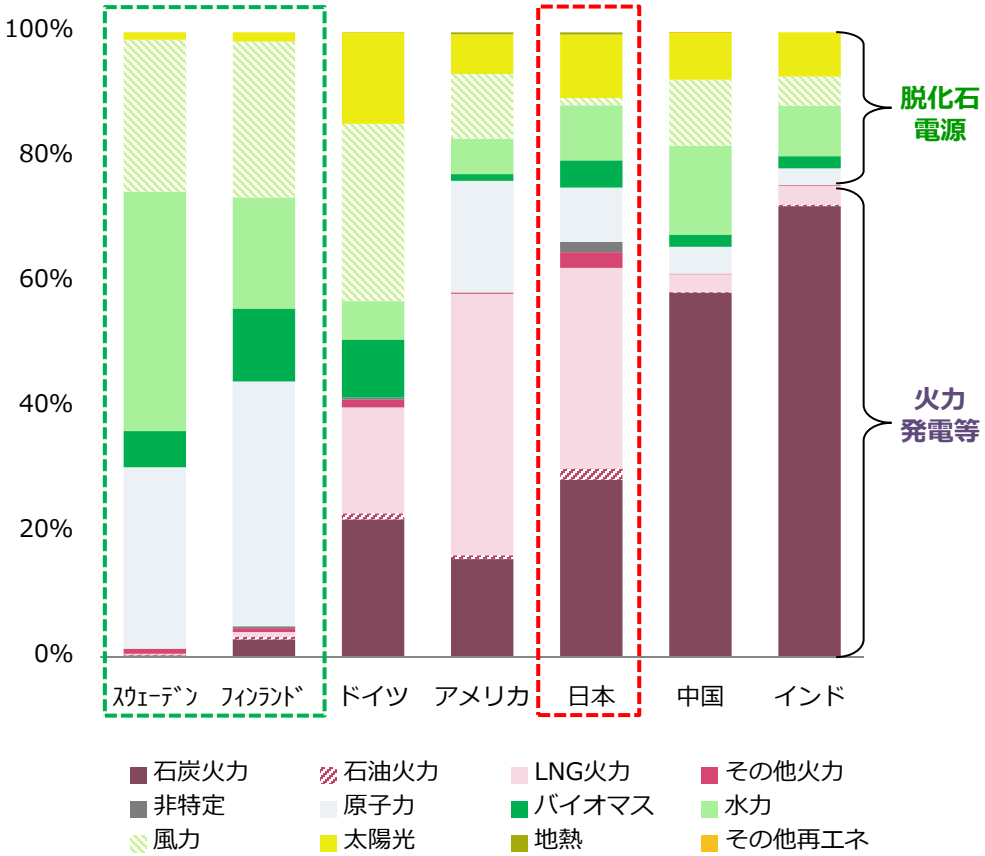
風力発電

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

【参考】各国の電源構成と産業用電力価格

電源構成(2024年)

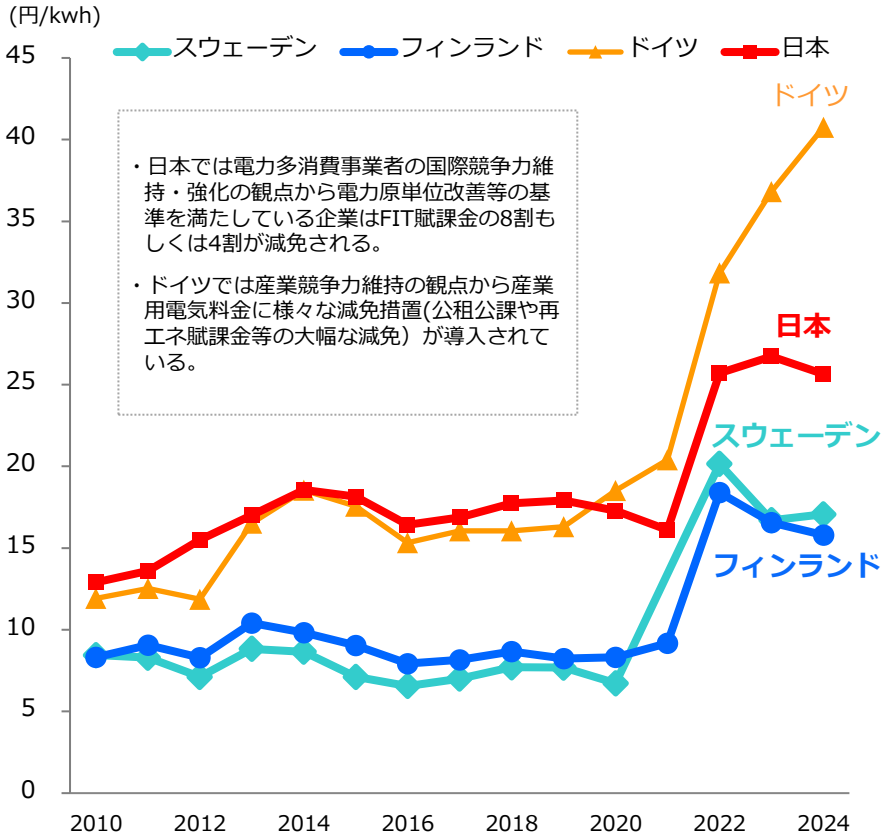
OVAKOの生産拠点が立地するスウェーデン、フィンランドは脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高い。



※ IEA(国際エネルギー機関)「Monthly Electricity Statistics」より当社作成

産業用電力価格の推移

スウェーデン、フィンランドの産業用電力価格は日本の1/3～2/3程度。

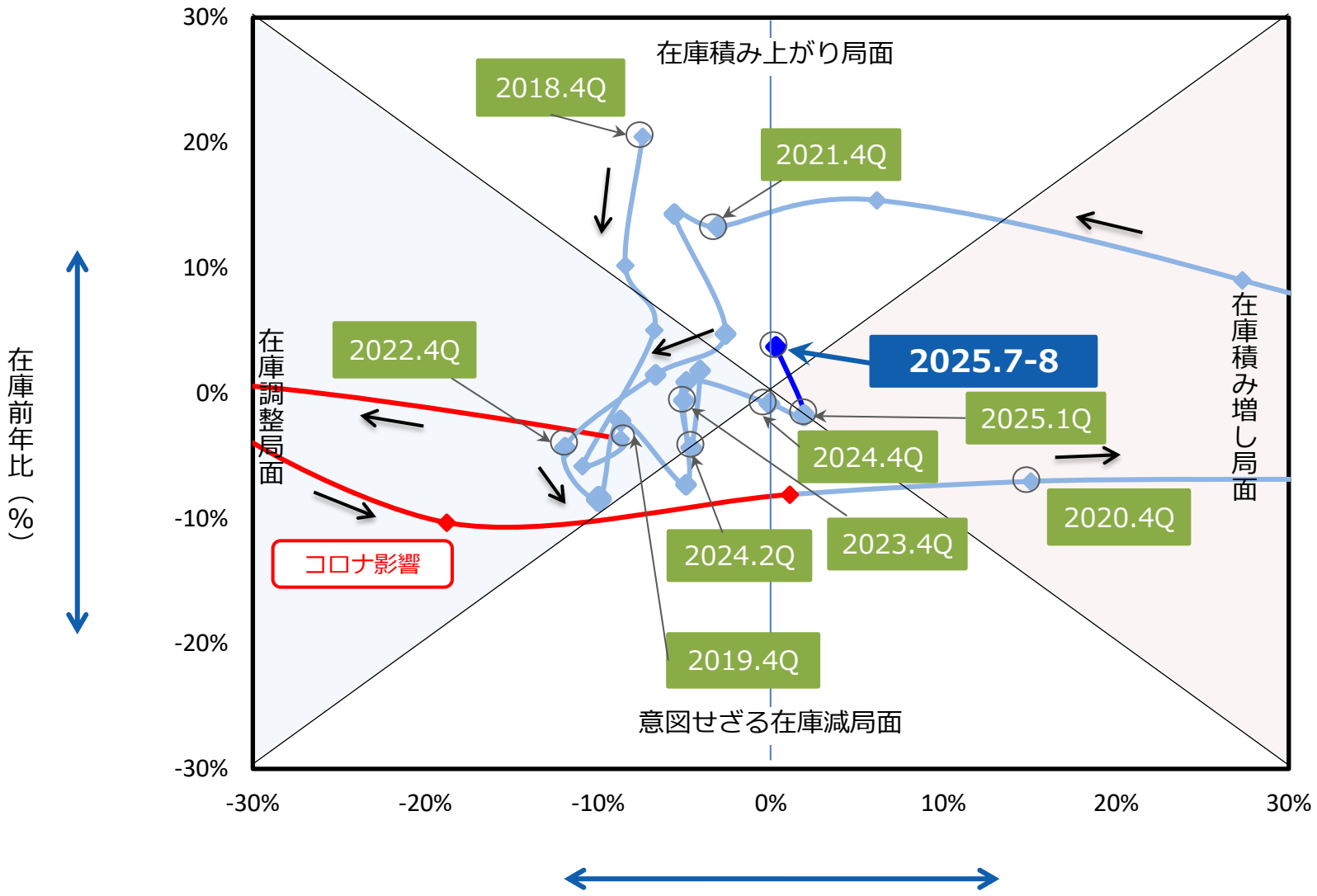


英国ビジネス・エネルギー・産業戦略省「Industrial electricity prices in the IEA」より当社作成

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

4. 参考資料

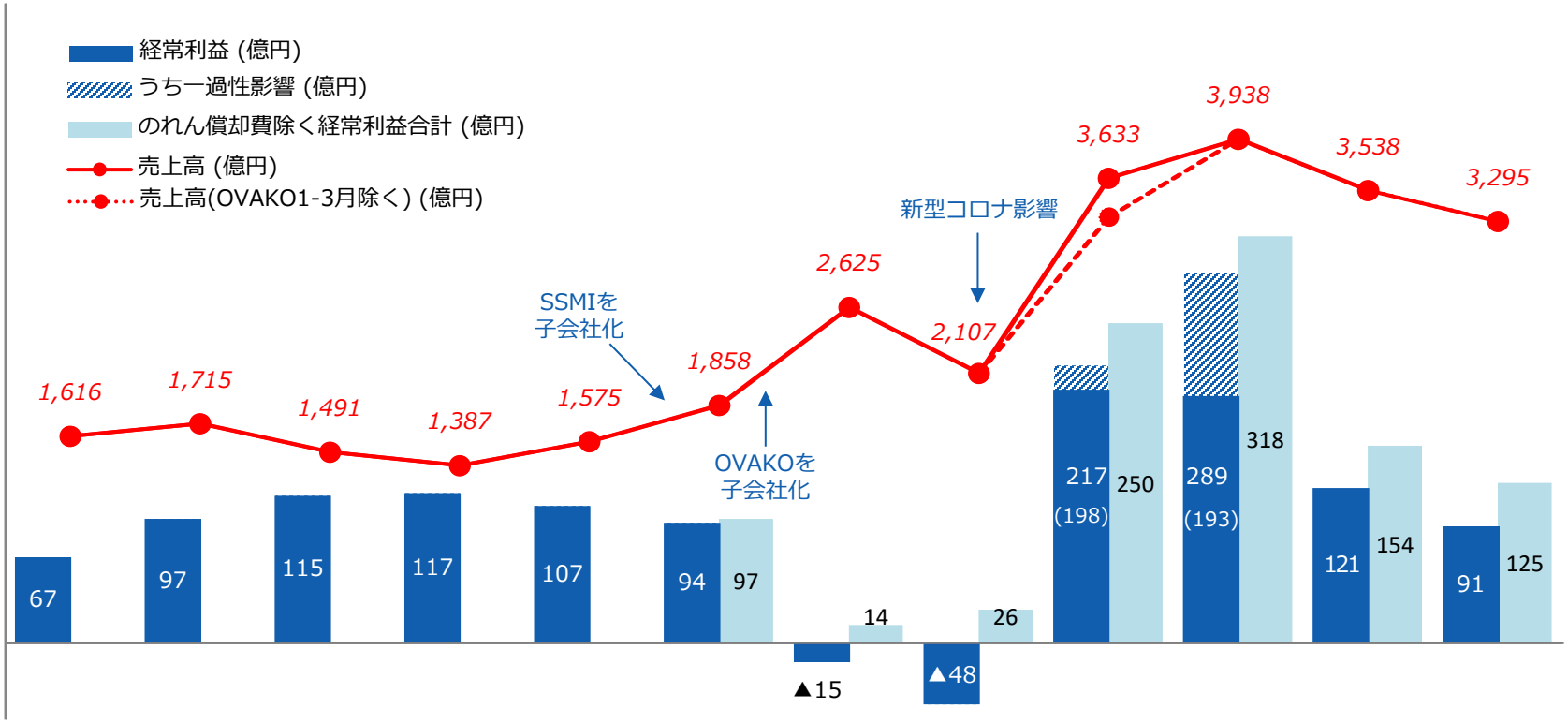
軸受在庫循環図



出典：経済産業省機械統計

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績推移(年度)



	2013FY	2014FY	2015FY	2016FY	2017FY	2018FY	2019FY	2020FY	2021FY (注1)	2022FY	2023FY	2024FY
ROE	4.1%	6.1%	6.6%	6.6%	5.6%	4.8%	-2.0%	-3.9%	8.1%	10.1%	4.1%	1.9%
ROE(のれん償却費除く)	4.1%	6.1%	6.6%	6.6%	5.6%	4.8%	0.3%	-2.4%	9.9%	11.5%	5.6%	3.4%

(注1)2021FYのOVAKOおよびのれん償却費は2021年1月～2022年3月の15ヵ月の数値
(注2)SSMIは2018FY2Qから、OVAKOは2019FY1Qから損益を連結

© 2025 Sanyo Special Steel Co., Ltd. All Rights Reserved.

SANYO SPECIAL STEEL - the Confident Choice

https://www.sanyo-steel.co.jp/

NIPPON STEEL | 山陽特殊製鋼株式会社